

2010 年度立命館大学大学院（2010 年 2 月実施）

経営学研究科 企業経営専攻（博士課程前期課程）

入学試験問題

《 一般 入 学 試 験 》

《 社 会 人 入 学 試 験 》

《 外 国 人 留 学 生 入 学 試 験 》

論 述 試 験

試験時間	解答数	持込許可物件
11:15~12:15 (60分)	問題1~問題6の中から <u>1問</u> を選択して解答すること	なし

受験にあたっての注意

1. 配布された全ての答案用紙に受験番号・氏名を記入してください。
2. 途中での退室はできません。
3. 携帯電話・PHS・ポケットベルなどは時計として使用できません。アラーム機能を解除した上で、必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。指示に従わない場合は不正行為とみなします。
4. 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆、シャープペンシル、ボールペン、万年筆、消しゴム、鉛筆削り、時計以外のものを置かないでください。それ以外のものはカバンなどに入れ机の下に置いてください。下敷、定規類、そろばん、計算機能・翻訳機能のついている時計、耳栓などの使用は認めません。
5. 問題用紙も、試験終了後に回収します。

以下の経営学・会計学・経済学分野の問題1～6のうち、1つを選択して解答しなさい。
解答用紙は所定の用紙を使用し、選択した問題番号を明記の上、解答してください。

【経営学分野】

問題1 クリステンセン (Christensen, C. M.) が提唱する「イノベーターのジレンマ (the Innovator' s Dilemma)」とは、どのような現象であるのかを説明してください。

問題2 日本企業の生産現場にみる作業者の多能工育成の特徴を述べてください。ただし、下記の単語①及び②を必ず用いてください。 単語①職能資格、単語②OJT (on the job training)

【会計学分野】

問題3 近年、国際会計基準などをめぐる議論で新たな利益概念として「包括利益」が提唱されています。「包括利益」とはどのような業績指標といえるのか、包括利益が提唱された背景に言及しながら論じてください。

問題4 連結財務諸表の作成プロセスについて、以下のキーワードを用いて説明してください。
キーワード：連結財務諸表、連結範囲、資本連結、部分時価評価法と全面時価評価法、連結のれん

【経済学分野】

問題5 経済学における公共性の概念について説明してください。

問題6 フィリップス曲線について説明し、あわせて近年日本におけるその形状の特徴とその意味について説明してください。